

## 簡易操作マニュアル

### 入力切替方法

NAVI INPUT、AV1 (切り替え前に車輻AVソースをAUXを選択しておきます。)

- ② ステアリング右側 ↓ ボタン長押し ③ MENU長押し

FULL画面←→MAIN画面切り替え

- ① ステアリング右側 ↑ ボタン長押し ④ コントローラー ↑ 長スライド

カメラ入力任意呼び出し

- ③ iDriveコントローラーMENUボタン2回連打

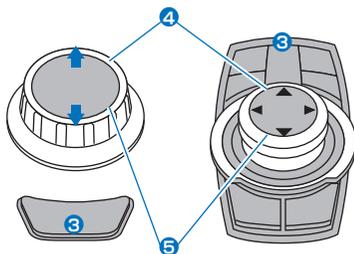
※ Camera1、Camera2同時使用の場合は表示後  
iDriveコントローラー ↑ ↓ で切り替え ④⑤



### NAVI操作

基本的な操作はタッチパネルで全て行います。2点タッチで「LOCAL」「MENU」「AUDIO」「QUALITY」アイコン表示

- ステアリング右側 ↑ ↓ ボタン短押しでCN-Z500DのAVソースの選曲(チャンネル変更) ①②  
ステアリング受話器マークボタンでパナソニックリモコンの受話器ボタン操作  
AV1入力表示部分の画面の上下部分タッチでもチャンネル変更が可能です  
コントローラー ↓ 長スライド ⑤ でリモコンのSOURCE信号



### アルパイン製フロントカメラON/OFF

iDriveコントローラーMENUボタン2回連打で表示します。③

ON中にiDriveコントローラー ↑ スライドで表示パターン切り替え出来ます。④

iDriveコントローラーMENUボタン2回連打で元の画面に戻ります。

### Camera1 入力の任意呼び出しON/OFF

iDriveコントローラーMENUボタン2回連打で表示します。③

※ Camera2と同時利用の場合はCamera2表示後にiDriveコントローラー ↓ スライドします。

iDriveコントローラーMENUボタン2回連打で元の画面に戻ります。

### 純正画面へ戻る

iDriveコントローラーMENUボタンを短押しします。③

### 操作時の制限事項

- 画面切り替え後1秒間は入力のOSD表示を致します。その表示中はタッチ操作は出来ません。
- SUB画面上に表示選択アイコンを表示している間はNAVIのタッチ操作は出来ません。
- NAVI操作中の2点タッチでアイコン表示中は、NAVIのその他のタッチ操作は出来ません。
- VEMメニュー表示中は、リバースアクション動作以外は出来ません。(リバースアクション終了後は純正画面に戻ります。)
- Camera1やCamera2がFULLで表示されている間はカメラ切り替えとOFF以外の操作は出来ません。
- PDC-ONの状態では操作出来ません。※画面上に「このモードを終了するにはPDC-OFFにします。」と表示されている間。
- ナビリモコンはCN-Z500Dの映像を表示中のみ使用可能です。

※ ナイトビジョン装着時は純正画面からのみ切替可能です。

# Visual Expand Module

## AT-VEM11DZ MADE IN JAPAN

ver.1.00

第1世代iDrive用LCD一体型AVインターフェイス

### USERS MANUAL

# Expand



**警告** 安全のために必ず守って頂きたい事。守らないと生命に危険、または重大な傷害につながる恐れがあります。



**警告** ● 装着作業の際、必ずバッテリーの(-)端子を外して作業してください。接続したままの作業は配線がショートすることがあり、感電の恐れや車輻破損の原因となります。



- 注意**
- 純正部品の取り外し、取り付けは整備要領書に従い、正しく行ってください。
  - 配線の結線などの取付は確実に行ってください。ショートや感電の恐れ、車輻破損またはトラブルの原因となります。
  - 誤配線やショート、静電気により機器の故障、破損や感電する場合がありますので細心の注意の上作業を行ってください。
  - 取り付け配線などは定期的に点検してください。点検を怠ると重大な事故や故障、トラブルの原因となります。
  - 取り付けは安全を確保した上で確実な作業を行ってください。
  - 万一異常が発生した場合、直ちに車輻を安全な場所に停止させ、電源を切り異常箇所を確認・点検を行ってください。

取付販売店へのお願い：本取扱説明書は、必ずお客様にお渡し下さい。

## もくじ

- 1 もくじ、当製品の特徴
- 2 取り付け可能車種、商品構成
- 3 各コネクタの説明、LEDの説明、DIPスイッチの設定
- 4 当製品の取り付け、使用時の外部映像表示の基本的操作
- 5 パナソニック製ナビ、CN-Z500Dの取り付け
- 6 アルパイン製フロントカメラHCE-C250FDの取付
- 7 バックカメラの取付、カメラ入力に付いて、リバースリンクに付いて
- 8 バックカメラの取付、PDC装着車輻に付いて、ガイドラインに付いて
- 9 AV1 (V)入力の使用について、拡張ユニットの接続に付いて、同時表示可能な入力に付いて
- 10 プログラムUPDATEに付いて

裏表紙 簡易操作マニュアル、操作時の制限事項

## 当製品の特徴

純正モニターを取り外し、交換するタイプの高詳細モニター一体型のAVインターフェイスです。1280X480画素数のLCDです。LEDバックライトでムラの無い綺麗な映像を映し出します。  
※純正映像信号は低画素用の信号で入力される為、アップスキャンして映し出されます。また、他の入力と異なり多少色合いがズレます。ご了承ください。  
静電式タッチパネルが装備されていて、CN-Z500Dナビ操作や各種設定がタッチ操作で可能です。パナソニック製ナビ、CN-Z500Dを接続すれば、ナビ機能、AV機能、Bluetoothハンズフリー機能など、第1世代iDriveでは物足りない部分が一気に解決出来ます。  
パナソニック製ナビ、CN-Z500Dの接続を前提として設計して有りますが、使用せずにカメラや地デジなどのインターフェイスとしても使用可能です。  
バックカメラ装着の際はステアリング操舵角連動で動くガイドラインの表示が可能です。  
PDC装備車輻は表示&動作も自動的に最適化されるように設計されています。  
アルパイン製フロントカメラのダイレクト接続に対応しています。iDriveコントローラーで操作可能です。  
入力ソースを増やしたい場合は、別売の拡張ユニットAT-VEP50 or AT-VEP50Lightの何れかが接続可能です。

### 注意

当製品取付後にディーラー等で整備の際、BMW診断機接続でエラーが起きる可能性があります。その際は純正モニターに戻す必要が有りますので、純正モニターは大切に保管してください。  
コンバートしたモニターには照度センサーは搭載していません。  
周囲の明るさによってモニターの明るさが変化する機能は動作しなくなります。  
iDriveでの設定でモニター照度調整は可能です。

## プログラムUPDATEに付いて

当製品は製品の安定性向上や機能追加など、随時プログラムを更新して参ります。  
新しいプログラムは当社HPで公開致しますので、ダウンロードしてお客様自身でUPDATEが可能となります。  
※基本的にUPDATEでは以前の設定状態を維持しますが更新内容によっては、当製品の設定がデフォルト状態に戻る場合も有ります。  
以下にはUPDATE手順をご紹介します。

### 用意するもの

WindowsOS搭載のノートPCかタブレット(確認OS、WindowsXP、7、8.1、10)  
※USB接続致しますのでタブレットの場合はAタイプが接続出来るように変換のOTGケーブルが必要です。

### 準備

当社HPの該当製品のページより、atackDFU、DFUドライバをダウンロードしてノートPCorタブレットにインストールします。  
※**圧縮ファイルの為、解凍処理が必要です。**  
※DFUドライバはお使いのOSに合わせ32Bit、64Bitを選択してください。  
インストールが完了致しますとデスクトップ画面にatackDFUのアイコンが登場致します。  
当社HPの該当製品のページよりUPDATEプログラムをダウンロードします。  
※**圧縮ファイルの為、解凍処理が必要です。**

### UPDATE作業

ノートPCorタブレットのatackDFUアイコンをクリックして起動させます。  
進行状況の部分に「デバイスが接続されていません。」と表示されているはずで

車輻に設置されているUPDATE用USBケーブルを接続しますが、車輻がスリープに入っている必要が有ります。  
約1分放置してスタータースイッチのLEDが消灯するのを待ちます。  
消灯していれば、USBケーブルをノートPCorタブレットに接続します。  
進行状況の部分に「デバイスが接続されました。」と表示されます。

atackDFUのファームウェア選択部分をクリックして、準備したUPDATEプログラムをマウントします。  
進行状況の部分に「新しいファームウェアがロードされました。」と表示されます。

atackDFUのアップデートをクリックします。  
消去、書き込み、検査と自動的に進み「ファームウェアが一致します。」と表示されます。

USBケーブルを抜きます。以上でUPDATE完了です。

### プログラムVerの確認

車輻を起動してiDriveコントローラーのMENUボタンを5秒間長押しします。  
当製品のVEMメニューが表示されます。右下に現在のプログラムVerが表示されています。

## AV1 (V)入力の使用について

AV用の入力で使用します。NAVI INPUTを使用している時はCN-Z500Dのリヤモニター映像出力を接続する事でNAVI+AVが可能となります。  
CN-Z500Dを取り付けせずに、アフターマーケット製地デジチューナーなどを接続する場合は、チャンネル変更などが車輪スイッチで操作可能な製品をお勧めします。

対応地デジ  
パナソニック製地デジチューナー、データシステム製HIT7700II、パイオニア製GEX-909DTV  
コントロール可能な地デジチューナーを取り付けた場合、リモコン受光部の信号を当製品のIR-IN/OUTを経由することでステアリング右側スイッチでチャンネル変更が可能となります。

※IR-OUT～地デジチューナー間の3.5φ3極ケーブルは別途ご用意ください。

## AV1の入力有効化設定

モニターに純正映像が映っている状態で画面を2点タッチしてVEMメニューを表示します。(操作方法は4ページを参照して下さい)  
「AV1 INPUT」の設定アイコンを選択して設定画面に入ります。

AV1 INPUTを「USE」に設定します。  
「QUALITY SETTING」に入りますと、映像の画質調整画面となります。  
調整したい項目名をタッチして赤文字にします。その状態で画面左端を上下にタッチスライドすると数値が変わります。  
「戻る」アイコンをタッチするとEXITです。

## AV1の表示

ステアリング右側の↓ボタン長押しをします。(iDriveMENUボタン長押しでも同様です)  
ステアリングの↑ボタンを長押ししますと、MAIN画面サイズで表示され、SUB画面上には、表示選択用のアイコンが表示されます。(iDriveコントローラー↑長スライドでも同様です)  
表示されたアイコンをタッチしますと、その映像が表示されます。(表示可能なアイコンのみ。トーンダウンされたアイコンは選択出来ません。)

コントロール対応地デジチューナーを接続した場合は、↑↓短押しでチャンネル変更が可能です。  
(地デジ映像の上下部分をタッチしてもチャンネル変更が可能です)

## 拡張ユニットの接続

当製品には入力数を増やす為の拡張ユニットAT-VEP50 or AT-VEP50Lightが接続出来ます。  
拡張ユニットを接続した場合に実際に増えるのは、

AT-VEP50 AV2入力、HDMI入力  
AT-VEP50Light AV2入力

となります。当製品は単体でもカメラ入力などに複数入力を持っていますので、拡張ユニットでの増数は少ないですが、AV入力が複数となる場合は音声経路のセレクターが必須となる為、他製品で対応させるより接続&操作が簡単になります。  
CN-Z500Dも装着する場合は、CN-Z500Dのリヤモニター出力と音声出力の3色RCAをAV1に接続します。  
そのようにすることで、CN-Z500DのAV機能と拡張ユニットのAV機能両方が問題無く操作出来るようになります。  
拡張ユニットを接続しますと、当製品のCamera2入力は無効となり拡張ユニット側のCamera2入力が有効となります。  
拡張ユニットを接続しますと、自動認識されてVEMメニューの該当する入力アイコンが選択出来るようになります。

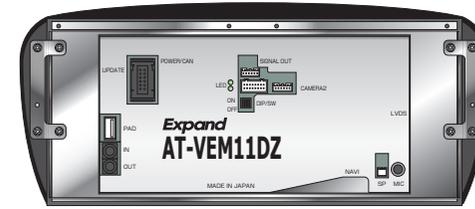
各設定は他の入力での設定方法と共通です。(HDMI入力にはQUALITY SETTINGは有りません。)

## 同時表示可能な映像の一覧

MAIN画面ソース	SUB画面に選択出来るソース
「NAVI INPUT」	「AV1」「Camera1」「Camera2」
「AV1 INPUT」	「純正」「NAVI」「Camera1」「Camera2」
「AV2 INPUT」※拡張ユニット接続時	「純正」「NAVI」「Camera1」「Camera2」
「HDMI INPUT」※拡張ユニット接続時	「純正」「NAVI」「Camera1」「Camera2」

※Camera1、Camera2はMAIN画面サイズで表示出来ません。

## 商品構成



イラストはE90系、E60系用です。

### E90系、E60系用

AT-VEP11DZ本体  
タッチパネル&モニターカバー一体型

### E70、E71用

AT-VEP11DZ本体  
タッチパネル&モニターカバー一体型

## 共通付属品



MIC



受光部



16P入力ハーネス



5P電源出力ハーネス



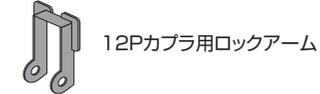
VICS用アンテナ分配



ガイドスピーカー&2Pハーネス



UPDATE用USBケーブル



12Pカブラ用ロックアーム

## 別売品



タッチパッドAT-TPD04  
(¥24000税別)



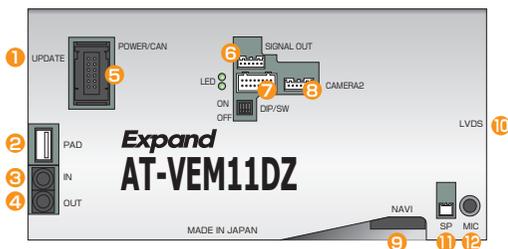
AT-VEP50  
(¥50000税別)



AT-VEP50Light  
(¥30000税別)

## 各コネクタ説明

- ① UPDATE用USBコネクタ
- ② タッチパッド接続用USBコネクタ
- ③ リモコン受光部ジャック(IN)
- ④ リモコン受光部ジャック(OUT)
- ⑤ 純正電源/CAN接続コネクタ
- ⑥ 5Pナビ信号出力コネクタ
- ⑦ 16P映像入力コネクタ(AV1, Camera1)
- ⑧ Camera2コネクタ(アルパイン製フロントカメラ用)
- ⑨ NAVI入力コネクタ(パナソニック製CN-Z500D用)
- ⑩ 純正LVDS接続コネクタ
- ⑪ 2Pガイドスピーカー用コネクタ
- ⑫ MIC用ジャック



## LEDの説明

赤=消灯	緑=消灯	当製品OFF状態です。(車輻CAN信号停止中)
赤=点灯	緑=消灯	スタンバイ状態です。(車輻CAN信号有り、キーOFF状態)
赤=点灯	緑=点滅	起動中状態です。(車輻CAN信号有り、キーポジション/ACC以上)

## DIPスイッチの設定

ON OFF DIP/SW DIPスイッチは下記の指示に従い設定を行って下さい。

1	ON	車種設定	1	2	
	OFF		ON	OFF	
2	ON		OFF	OFF	E60系 / E63系 / E90系
	OFF		ON	ON	E70 / E71
3	ON	未使用	OFF	ON	
	OFF	未使用			
4	ON	未使用			
	OFF	未使用			

## 各入力の説明

NAVI INPUT	パナソニック製CN-Z500Dを接続出来ます。
AV1 (V)INPUT	AV用入力です。CN-Z500Dのリヤモニター出力を接続すると便利に使用出来ます。
Camera1 (C)INPUT	汎用カメラ入力です。設定でリバース運動に出来ますのでバックカメラを接続します。
Camera2INPUT	アルパイン製フロントカメラをダイレクトに接続します。

※AV1 (V)、Camera1 (C)の16Pコネクタは拡張ユニット接続時は連結ハーネスの接続部となります。AV1、Camera1、Camera2は拡張ユニット側端子を使用します。

## PDC装備車両での動作について詳しく紹介

純正の機能として、車輻はバックの時に同時にPDCもONとなります。バックから抜いてもPDCは継続され、PDCスイッチでOFFにするか、ある一定の距離または速度を超えるとOFFになります。当製品は、基本的にリバース信号とPDC信号の両方を監視する設計となっています。

### バックカメラを接続した場合

両方の信号が有る場合はバックカメラ映像+PDC小窓表示となります。※ガイドラインの位置によっては、小窓表示部分に被る場合があります。この場合はPDCがOFFになるまでバックカメラ映像を継続します。切り替えし運転の時など便利です。バックギヤから抜いた状態では「このモードを終了するにはPDC-OFFにします。」とOSD表示されます。また、バック時以外でPDCスイッチでPDC信号のみがONの場合は、外部映像から純正画面へ戻る設計となっています。その際はPDC-OFFで元の画面に戻ります。

### バックカメラを取り付けない場合(「純正画面へ戻る」を選択時)

通常使用時はPDCがONになる信号を検知したら純正画面に戻ります。PDCがOFFになると元の画面に戻ります。

### NAVI入力側にバックカメラを接続した場合

NAVI入力画面上に同時に純正映像を映す事が仕様上出来ない為、PDC小窓表示は出来ません。PDC信号を無視して、リバース信号のみで動作します。その関係で外部映像視聴中にPDCスイッチでONにしても純正映像に戻れません。(PDC装備車両はCamera1側へ入力してください。)この設定でCamera1をフリーにする事で、サイドカメラなどを使用して3個のカメラを使用する事が可能となります。

### E70などにバックカメラを装着する場合の注意点

E70などでは純正でバックカメラが装備されています。しかし映像が汚い為、アフターマーケット製カメラに変更したいと言う要望も多いです。以下はアフターマーケット製バックカメラを当製品に接続する場合の車輻設定です。iDriveのメニュー設定の中から、バックカメラの表示をOFFにします。OFFに設定されれば、車輻PDCイラストがMAIN画面部分に横向きに表示されるようになります。この表示方法に設定しておく事で、Camera1にバックカメラを接続した場合でも、リバース時にPDCイラストを小窓表示できるようになります。※この設定を行わない場合、リバース時のアフターマーケットカメラ映像に同時表示される小窓部分が正常に表示されません。

### ガイドラインについて

当製品はバックカメラを取り付けた場合にリバース時にステアリング操舵角連動のガイドラインを表示出来ます。ガイドラインを表示するか表示しないかを選択します。(ガイドラインは固定表示は出来ません。)[USE]を選択した場合はガイドラインの調整機能が有効になります。[GUIDE LINE AJAST]を選択決定して調整画面に入りますと、カメラ映像とガイドラインが表示されます。この場合のラインはステアリング連動致しません。※CN-Z500Dのバックカメラ入力に接続した場合は、この時に疑似的にリバース信号が出力されNAVIがバックカメラモードとなります。画面上側に項目が表示されています。タッチパネルでの調整操作調整したい項目名をタッチして赤字にします。その状態で画面左端を上下にタッチスライドすると数値が変わり、ラインが移動、変化します。「戻る」アイコンをタッチするとEXITです。※この時表示されるガイドラインはステアリングに連動は致しません。

### バックカメラの表示

#### Camera1へ接続した場合

車輻をバックギヤへ入れます。バックカメラの映像へ切り替わります。ガイドライン表示を選択していれば、操舵角連動でガイドラインが動きます。PDC装着車両は、PDCがOFFになるまで、カメラ映像が継続します。またリバース時以外で任意に呼び出す事も可能です。iDriveコントローラーのMENUボタンを2回連打します。(任意呼び出ではガイドラインは表示致しません。)\*フロントカメラも装着している場合は、まずフロントカメラが呼び出されます。iDriveコントローラーを↓スライドで切り替わります。また、他の外部ソースを選択している状態でそのソースをMAIN画面サイズで表示してSUB画面上にカメラ表示する事も可能です。

#### CN-Z500Dのバックカメラ入力へ接続した場合

車輻をバックギヤへ入れます。バックカメラの映像へ切り替わります。ガイドライン表示を選択していれば、操舵角連動でガイドラインが動きます。\*PDC信号制御は行いませんので、同時にPDC情報を表示する事は出来ません。

## バックカメラの取付

汎用のバックカメラを取り付けます。  
カメラの映像信号線、電源線は下記のように接続してください。  
当製品のCamera 1 (C)入力はバックカメラ入力として使用出来ます。  
CN-Z500D側にもバックカメラ専用入力があるので、そちら側への接続も可能です。Camera 1 入力に比べ機能に制限がありますので、Camera 1 入力をバックカメラ以外で使用する予定がある場合を除き、バックカメラはCamera 1 へ接続をお勧めします。\*PDC非装着車輦では問題ありません。

	Camera 1 入力を使用	NAVI入力側に接続で使用
リバース連動呼び出し	○	○
PDC装着車輦でのPDC小窓表示	○	×
操舵角連動ガイドライン表示	○	○
任意呼び出し機能	○	×
表示連動電源出力	○	×

### Camera 1 (C)入力に接続の場合

16PハーネスのCamera 1 (C)入力へカメラ映像信号線を接続します。  
16PハーネスのCamera 1 (C)入力連動電源線へカメラ電源を接続します。  
※この電源線はCamera 1 (C)入力を表示する状態の時に8Vを出力します。

### Camera 1 の入力有効化設定

モニターに純正映像が表示されている状態で画面を2点タッチしてVEMメニューを表示します。(操作方法は4ページを参照して下さい)  
「Camera 1 INPUT」の設定アイコンを選択して設定画面に入ります。Camera 1 INPUTを「USE」に設定します。  
「QUALITY SETTING」に入りますと、映像の画質調整画面となります。

#### タッチパネルでの操作

調整したい項目名をタッチして赤字にします。その状態で画面左端を上下にタッチスライドすると数値が変わります。  
「戻る」アイコンをタッチするとEXITです。

### CN-Z500Dのバックカメラ入力に接続の場合

NAVIのバックカメラ入力へカメラ映像信号線を接続します。  
バックカメラの電源は、ACC以上で供給される線へ接続します。  
※バック電源で接続しますと、画質調整やライン調整の画面でカメラが映らない不具合が発生します。

### バックカメラの表示設定

CN-Z500D側での設定メニューを開きバックカメラの表示設定を行ってください。  
当製品のガイドラインを使用するのであれば、CN-Z500D側のガイドラインはOFFにします。  
次にREVERSE LINKやガイドラインの設定を行います。(各設定の説明項目参照)

### REVERSE LINKの設定について

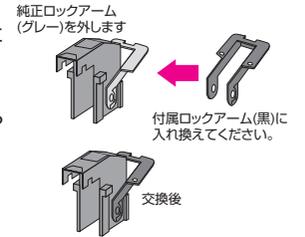
この機能は、車輦のバック信号やPDC信号を検知した場合に自動的に決められたアクションを行う為の設定項目です。  
外部映像表示中でも、アクション指令が入れば、決められたアクションを実行して、指令が無くなれば元の画面に戻ります。

<b>NO ACTION</b>	特別な動作は致しません。PDC未装着車輦にバックカメラも取り付けられない場合の設定です。 ※例えば地デジを視聴中などにバックギヤに入れても地デジ映像のままです。
<b>純正画面に戻る</b>	PDC装着車輦でバックカメラは取り付けられない場合の設定です。PDC信号検知で純正画面に戻ります。 PDC-OFFで元の画面に戻ります。 ※外部映像を視聴中などにバックギヤに入れた場合、純正画面に戻ります。PDC-OFFで元の画面に戻ります。
<b>Camera 1 入力に切り替え</b>	Camera 1 入力にバックカメラを装着した場合の設定です。 (PDC装着車輦はこの入力に接続をお勧めします。) ※バックギヤに入れた場合、Camera 1 入力に切り替わります。PDC未装着車輦はバックギヤから抜く時、PDC付き車はPDC-OFFで元の画面に戻ります。
<b>NAVI入力に切り替え</b>	NAVI側のバックカメラ入力へバックカメラを装着した場合の設定です。 (PDC装着車輦の場合お勧めしません) ※バックギヤに入れた場合、NAVI入力FULL画面に切り替わります。バックギヤから抜くと元の画面に戻ります。  ※Camera 1 やNAVI INPUT を選択している状態で、その入力を「NOT USE」に切り替えた場合は、REVERSE LINKは「NO ACTION」へ移動します。

## 当製品の取り付け

車輦から純正モニターを取り外します。  
車輦の電源/CANハーネスからロックアームを取り外し、付属のロックアームに付け替えます。モニターケーブルと電源/CANハーネスを当製品に接続します。  
別売の拡張ユニットも接続する場合は、当製品付属の16P入力ハーネスは使用せずに拡張ユニットに同梱の16P連結ハーネスを使用して接続します。  
付属のUSBケーブルをUPDATEコネクタに挿し、Aタイプ側をグローブBOX内や助手席足元に出して下さい。(後に当製品のUPDATEを行う際に接続します。)

※ 拡張ユニットを接続しますと当製品のCamera 2コネクタは使用出来なくなります。  
拡張ユニット側のCamera 2コネクタを使用してください。

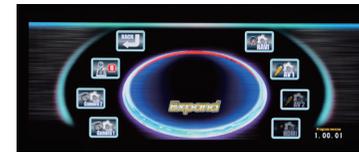


## 起動とスリープのチェック

車輦のCAN信号が起動している状態の時は当製品のLED (赤) が点灯します。  
キーポジションをACC以上にします。LED (緑) が点滅を開始します。キーをOFFにします。LED (緑) が消灯します。  
そのまま約1分放置して、車輦のCAN信号が停止するのを待ちます。(プッシュスタートスイッチのLEDが消灯するまでLED (赤) が消灯して、当製品がスリープに入ります。)

## VEMメニューの操作方法

キーをONにしてモニターに純正映像が映っている状態で画面を2点タッチします。  
目的のアイコンをタッチします。そのアイコンに赤枠が付き、画面上部にその説明が表示されます。  
赤枠の付いたアイコンを再度タッチしますと、決定動作となります。(決定されたアイコンは暖色に変化します。)  
※決定動作をするには同じアイコンを2回タッチする訳です。  
次階層の有るアイコンを決定操作した場合は画面がフラッシュして次の階層メニューに切り替わります。  
現在、どの設定内容の階層に居るかは画面中央に表示されるアイコンで判断出来ます。  
トーンダウン色で表示されているアイコンは、現在の設定では選択決定が出来ない状態のアイコンです。  
※iDriveコントローラーのMENUボタンやプッシュボタンを押すと純正画面に戻ります。



画質調整やガイドライン調整画面での操作は操作したい項目をタッチすると赤字に変化します。  
画面左端を上下にスライドタッチする事で数値が変化して調整されます。

## 使用時の外部映像表示の基本的操作

最初にVEMメニューで使用する入力を「USE」に切り替えておきます。(デフォルトでは全て「NOT USE」です。)  
ステアリング右側の↓ボタン長押しで、有効なNAVI入力とAV入力呼び出されます。  
複数ある場合は押す度に切り替わります。(iDriveMENUボタン長押しでも同様です)  
ステアリング右側の↑ボタン長押しすると、表示はMAIN画面サイズとなりSUB画面部分には、同時表示可能な入力のアイコンが表示されます。(iDriveコントローラー↑長スライドでも同様です)  
無効化されている入力アイコンはトーンダウン色で表示され選択出来ません。そのアイコンをタッチするとSUB画面上に選択した映像が表示されます。  
再度↑長押しでFULL画面に戻ります。また↑長押しでSUB画面上にアイコンが表示される繰り返しとなります。  
外部映像から純正映像に戻った場合はラスト表示状態を記憶しますので、↓ボタン長押しで外部映像を呼び出した際は以前の表示状態で呼び出されます。  
Camera 1 やCamera 2 は上記の方法でSUB画面には呼び出し可能ですが、MAIN画面に呼び出す事は出来ません。  
Camera 1 やCamera 2 はiDriveコントローラーのMENUボタンを2回連打することでFULL画面で呼び出し出来ます。消して元の状態に戻す時も2回連打します。  
iDriveコントローラーMENUボタン1回で消す場合は純正画面に戻る操作です。  
Camera 1 とCamera 2 を両方使用している場合は、先にCamera 2 が表示されiDriveコントローラー↓スライドでCamera 1 へ切り替わります。



## CN-Z500Dの取り付け

CN-Z500Dは専用モニター以外を通常取付手順で車輻に設置します。ナビに必要な信号類は当製品から出力されます。パナソニック製の車輻AVインターフェースコードは当製品の5P電源出力ハーネスと接続します。(スピードワルズ信号、イルミ信号、リバーズ信号、Pブレーキ信号、ACC信号)  
※常時電源はバッテリーへ、ACC電源はリレーを必ず接続して別電源駆動としてください。  
CN-Z500Dのリヤモニター出力を当製品の16Pハーネス(V)入力へ接続します。(リヤモニターも接続する場合は分配器を使用してください。)  
※ナビ画面をMAIN画面サイズなどで表示した際の空き部分にリヤモニター用AV映像を表示できるようになります。  
CN-Z500Dの音声出力を車輻AUXへ接続してください。(DUAL AUXを使用すると便利です。)  
当製品付属の受光部とMIC、ガイドスピーカーを設置します。  
オプションのタッチパッドも装着する場合は、タッチパッドUSBを当製品のUSB端子に接続します。(USB端子はタッチパッド専用です。それ以外は接続しないでください。)  
VICS用FMアンテナは純正FMアンテナを付属の分配ケーブルを使用して接続します。

## NAVI入力の有効化設定

モニターに純正映像が映っている状態で画面を2点タッチしてVEMメニューを表示します(操作方法は4ページを参照して下さい。)  
「NAVI INPUT」の設定アイコンを選択して設定画面に入ります。NAVI INPUTを「USE」に設定します。設定が終了したら1つ上の階層メニューに戻り、リバーズ時の動作設定「REVERSE LINK」を行ってからVEMメニューを終了して下さい。(7ページ参照)

## NAVI入力の表示

ステアリング右側の↓ボタンを長押しします。  
CN-Z500Dの映像がFULL画面で表示されます。前回表示時がMAIN画面サイズなどだった場合は、そのサイズで表示されます。ステアリングの↑ボタンを長押ししますと、画面サイズが変化してMAIN画面サイズで表示された場合は、SUB画面上には、表示選択用のアイコンが表示されます。  
同時表示可能なアイコンのみが表示されます。無効化されている入力アイコンはトーンダウン色で表示され選択出来ません。表示されたアイコンをタッチしますと、その映像が表示されます。  
※SUB画面上に表示選択用アイコンが表示されている間はナビの操作は出来ません。  
MAIN画面部分にAVソース、SUB画面部分にNAVIを表示したい場合はステアリング↓ボタン長押ししてMAIN画面上にAV1を表示してから、SUB画面上のアイコンでNAVIを選択します。  
CN-Z500Dの機能の中で、画面表示をAVにした場合などは、画面上にAV+AVと表示がダブる事となります。ご了承ください。

## タッチパネルでのNAVI操作

NAVIの基本的な操作はタッチパネルで行います。NAVI画面上のアイコンをタップすると動作します。NAVI画面上でタッチパネルを2点タッチしますと画面右側にアイコンが登場します。本来パナソニックモニターのベゼル部に設置されているボタンです。目的のアイコンをタッチします。操作を取り消す場合は再度2点タッチします。  
※このアイコン類を表示している間はタッチパネルで他の操作は出来ません。

LOCAL	現在地を表示します
MENU	メニューを表示します
AUDIO	AV入力へ切り替えます
QUALITY	画質調整モードへ切り替えます



## 車輻スイッチへの操作機能割り当て

- ステアリング右側の↑↓ボタンを短押しすることでCN-Z500DのAVソースの選曲が出来ます。(AV1接続で表示の地デジ映像画面の上下部分をタッチしてもチャンネル変更可能です。)(iDriveコントローラー↓長スライドでパナソニックリモコンのSOURCEボタン信号を出力します。)
- ステアリング受話器マークボタンでパナソニックリモコンの受話器ボタン操作(NAVI画面が表示されていない状態では自動的に表示します。) ※この割り当てはNAVI画面がFULL、MAIN、SUBどの状態でも適応致します。

## タッチパッドでのNAVI操作(オプション)

タッチパッドをスワイプすると画面上にカーソルが表示されます。目的の場所へ移動してタップしますとその場所をタッチした動作となります。タッチパッドを2点タップしますと画面右側にアイコンが登場します。本来パナソニックモニターのベゼル部に設置されているボタンです。タッチパッドを前後にスワイプすることで赤枠が移動します。希望のアイコンが赤枠になるようにしてタップしますと決定動作となります。※タッチパッド操作が可能なのはNAVI画面上のみです。その他の操作を行う事は出来ません。

## ナビリモコンでの操作

ナビリモコンは、CN-Z500Dの映像が表示中のみ使用可能です。表示していない時の操作は無効となります。

## アルパイン製フロントカメラHCE-C250FDの取付

### フロントカメラの取り付け

フロントナンバープレート下にフロントカメラを装着します。カメラケーブルを当製品のCamera2入力に接続します。  
※拡張ユニットを接続した場合は、当製品のこの入力は無効となり、拡張ユニット側のCamera2を使用となります。

### Camera2の入力有効化設定

モニターに純正映像が映っている状態で画面を2点タッチしてVEMメニューを表示します。(操作方法は4ページを参照して下さい。)  
「Camera2 INPUT」の設定アイコンを選択して設定画面に入ります。  
Camera2 INPUTを「USE」に設定します。  
「QUALITY SETTING」に入りますと、映像の画質調整画面となります。

### タッチパネルでの操作

調整したい項目名をタッチして赤文字にします。その状態で画面左端を上下にタッチスライドすると数値が変わります。「戻る」アイコンをタッチするとEXITです。

### フロントカメラの表示

iDriveコントローラーのMENUボタンを2回連打します。フロントカメラがFULL画面で表示されます。カメラ映像が表示されている状態で、iDriveコントローラーを↑スライドしますと、表示パターンが変わります。  
※Camera1も「USE」であれば、↓スライドでCamera1に切り替え可能です。再度MENUボタン2回連打で元に戻ります。MENU1回短押しでは純正画面に戻ります。また、他の外部ソースを選択している状態でそのソースをMAIN画面サイズで表示してSUB画面上にカメラ表示する事も可能です。  
※この状態での表示の際はフロントカメラの表示パターン変更は出来ません。

左右表示



下側表示



ワイド表示

